

**問合わせ・見学 大歓迎！！**  
 <<利用状況 案内板 (★募集中★満員)>>  
 ★ナイス・ケア  
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)  

月	火	水	木	金	土
6	6	5	5	5	6

 ☆ナイス・ホーム (定員 21名、現在登録者 16名)  
 ☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 14名)  
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)  
 ★ナイス・キッズ (学童保育・託児)

<<10月行事予定>>  
 10日 外食DAY  
 16日 遠足(木曾三川公園)  
 23日 運動会  
 20日 避難訓練  
 31日 誕生日会  
 <<不定期行事>>  
 天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。



<<教室案内>>  
 ・和太鼓 月曜日(年間 35回)  
 場所:愛西市川淵コミュニティ  
 ・コーラス 水曜日(月 2回)  
 場所:喫茶てのひら  
 ※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。  
 各教室月謝制で、定員あり。  
 詳細はお問い合わせ下さい。


**“介護職員”募集！！**  
 介護の資格がない・・・週3回くらいなら仕事ができる・・・夜(夜勤)だけなら家を空けられる・・・  
 介護業務に興味のある方・今なら仕事をする時間がある方！！  
 是非、一緒に介護職として働きませんか。  
 身近に仕事を探している方や転職を迷っている方をご存知な方、『募集しているところがあるよ！』と声を掛けてみてください。  
 どんな様子か知りたい方は事前見学OKです。又は“サポート・ワン・サービス”とネットで検索してください。毎月更新しているホームページで日々の様子を知っていただくことができます。  
 詳細は気軽にお問い合わせください。  
 TEL 0567-26-3921 (担当:飯尾、田口)

**訪問介護の意味/ナイス・ケア**  
 “訪問介護”の言葉を調べると『利用者が在宅のまま自立した日常生活が出来るよう、訪問介護員などが利用者宅を訪問して、介助面における「身体介護」や家事面における「生活援助」を行うサービスの事』とあります。ところが、この基本的な事を実行する事はなかなか難しい時があります。今年の4月から訪問介護を利用し始めたAさん。訪問する度に「何もしなくていいからゆっくりして行って」とヘルパーに言われます。優しい言葉をかけて下さるのは嬉しいのですが、介護保険のヘルパーとして、何故お邪魔しているのかを説明しながら、部屋の片づけ、掃除等を行っていきます。利用開始から約半年、掃除を主としたサービス内容は、Aさんの生活状況に合わせて見直しがあり、買い物や調理も加わりました。ただ、ヘルパーの役割が増すにつれ、今まで家事を頑張ってきたAさんが、ヘルパーの訪問を頼りにするようになってみえたと感じる時があります。もちろん、嬉しいことですが、私たちは、『出来る事は自分で行ってもらい、在宅生活の継続に繋がる援助を』という基本を忘れてはいけないと思うのです。利用者さんに本当に必要なサービスを、共に考え、これからも訪問介護を行っていきたくです。(H・A)

**冬野菜の準備/S・O・S畑だより**  
  
 レタス、キャベツ、ブロッコリーの苗が植え終わり冬野菜の収穫が楽しみです。  
  
 秋の果物がおいしくなります。


**地域行事に参加/S・O・S**  
 毎年10月の楽しみといえば、“秋祭り”今年もみんなで山車見物に出かけました。昔ながらの地域の行事に触れ合える事で、懐かしき昔を思い出し、また、活力ももらえるのではないのでしょうか？  


**日々の出来事に対して/愛宕の家**  
 愛宕の家では様々な出来事が起こります。その都度スタッフで最善と思われる対応をさせていただくのですが、それはあくまでも私たちにとっての最善であり、『入居者さん本人やご家族にとってこれで良かったのだろうか』という疑問が残る場合もあります。“出来事”と言っても、大きな事から些細な事まで様々です。(事に大きい小さいと決めるのは良くはないのですが…)。  
 自分自身迷ったり悩んだりした時は、『もし自分の親だったらこんな対応されたら嫌だな』とか、『こうしてもらったら嬉しいな』というのを想像してみます。そうする事でおのずと見えてくるものもあります。しかし、そこはまだまだ人として未熟な私がでしゃばり、ついつい感情的になってしまうこともしばしば(汗)  
 これからも想像もつかないような事が起こると思いますが、慌てず、どっしりと構えた愛宕の家族でいたいと思います。(K・T)

**一枚の写真と時の流れ/打太鼓**  
 毎年10月の第1日曜日に演奏の声をかけて頂いている、神社の秋祭り。その神社は、普段練習場所として利用させてもらっている地域の神社。今年も、演奏させて頂きました。  
  
 お借りした社務所で、着替え&手合わせをはじめようとした時、その壁に掛けられた一枚の写真を発見！それは、始めて演奏させて頂いた時に、神社前で地域の方々と一緒に撮った集合写真！それを見た子ども達は、「俺ちっちゃ！」「私はまだいない・・・」などと言いながら、懐かしい写真で  
 プチ昔話に花が咲く。(この頃が一番メンバーもたくさんいたな～…)  
 演奏前も演奏後もメンバーたちに、「毎年楽しみにしてるよ」「来年も頼むよ」などと係りの方から声を掛けて頂き、普段、打太鼓のメンバーがいない場所に、その集合写真を飾ってもらっている事に、心底からの喜びと感謝、と同時に、若干の焦りも覚えます。最近、子ども達の成長と共にメンバーも減り、少々寂しい現状。よし、来年もお邪魔できるように、対策を練って練習に励もうではないか！太鼓を通じて、地域の方々と交流出来る事と、暖かい心遣いに触れ、太鼓の練習や活動の意義をもう一度再認識しようと思えた場面でした。神社、地域みなさん、ありがとうございます。(R・W)

**突然のお別れ/ナイス・デイ**  
 それはあまりにも突然でした。まだ84歳・・・。持病はお持ちでしたが、歌や、人のお世話、手作業などが大好きで、元気にデイに通って見えました。亡くなる丁度1週間前、市の敬老会行事にデイサービスの皆で出かけ、舞台でのカラオケや余興を、手を叩いて楽しんでみえる姿が忘れられません。その日も、デイサービスの利用予定でしたが、お迎え時に応答がなく、後でご家族より、亡くられたというお知らせを受けました。  
 息子さんは、『もう少し、いろいろやってあげればよかった』と言って見えました。しかし、自由気ままだったその方を思い浮かべると、同居家族の気配を感じながら、自分の思うがままに過ごせていたのではないかと思います。何か特別な事をやってあげなくても、一緒にいる事が家族の役割なのかもしれないですね・・・。  
 『死』を実感する事で、初めて『生』の価値に気付く。『死』を嘆き続けても仕方なく、それが変わる事は決してない。それを受け入れて、今後はどう活かす？  
 私も90歳になる母がいる。そしてこの施設にも高齢の利用者さんがたくさんみえる。ただの出来事ではなく、今、命ある方々と共に、価値のある時を過せるように努力する事が、故人に対して自分ができる最大の感謝の表し方ではないかと思えます。ご冥福をお祈りいたします。(M・O)

**第三者評価/ナイス・ホーム**  
 ここ数年、この時期には、スタッフの個別評価を行いません。9個の大きな項目に分かれ、その中で細かくチェック項目があります。小規模の制度そのもの、意義を考えさせられるチェック項目。そこには、より利用者さんを知り、地域の中で生活していくためには何が必要で、私たちは何に留意すべきかが記されていると感じます。普段の対応を文章化されると、より根拠のあるものだと再認識できます。個別評価を通じて、日々の対応や考え方が少しでも良い方向にいくよう、評価を深めて、第三者評価に臨みたいと思っています。(Y・O)

**介護プロフェッショナルキャリア段位制度進行状況**  
 <<段位取得者>> 1~6期生 (12名)  
 <<申請中>> 7期生 (1名)  
 <<評価中>> 8期生 (4名)  


**編集後記**  
 急に朝晩が涼しくなりました。利用者さんの中には体調が崩れ気味(風邪気味)の方もちらほら・・・。認知症の方は予防のためのマスクが苦手な方も少なくないです。そこで、カテキン効果を期待して緑茶を飲みましょう。水分も取れて一石二鳥ですよ♪(Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。  
 10月の発送部数 110部